安全データシート



キット 化学品の名称 キット カタログ番号 DCode Electrophoresis Reagents Kit

1709175

改訂日 2023-01-24

4			
珠	FT.	느	
7#F	ルん	00	

カタログ番号	化学品の名称
9702653	Formamide (Deionized)
9702681	DCode 2X Gel Loading Dye
9702660	DCode Dye Solution

ページ 1/23 KITJ / JP



-ト は以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2023-01-24 改訂番号 1.1

化学品及び会社情報

化学品の名称 Formamide (Deionized)

カタログ番号 9702653 CAS**番号** 75-12-7

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad Laboratories, Life 140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 1000 Alfred Nobel Drive Science Group Hercules, CA 94547 2000 Alfred Nobel Drive 天王洲セントラルタワー20F Hercules, California 94547 USA USA バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 使用上の制限 試験研究用試薬。

情報なし

2. 危険有害性の要約

急性毒性(経皮) 区分に該当しない 急性毒性(吸入) - ガス 区分に該当しない 急性毒性(吸入) - 蒸気 公類できない 急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト 区分に該当しない 皮膚腐食性/刺激性 区分に該当しない 呼吸器感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 分類できない 差がん性 区分 2 生殖毒性 区分 1B 授乳に対する又は授乳を介した影響に 皮分 3 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 3 区分 3 標的臓器影響: 麻酔作用。 区分 2 医分 2 male reproductive organs. 区分 2	GHS 分類	
急性毒性(吸入) - ガス 区分に該当しない 急性毒性(吸入) - 蒸気 分類できない 急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト 区分に該当しない 皮膚腐食性/刺激性 区分に該当しない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 区分 2 生殖毒性 区分 1B 授乳に対する又は授乳を介した影響 投乳に対する又は授乳を介した影響に 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 3 区分 3 区分 3 区分 3 区分 2 区分 2 区分 2		区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気 分類できない 急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト 区分に該当しない 皮膚腐食性/刺激性 区分に該当しない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 区分 1B 授乳に対する又は授乳を介した影響 授乳に対する又は授乳を介した影響にない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 3 区分 3 標的臓器影響: 麻酔作用。 区分 2 医分 2 male reproductive organs. 区分 2		区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト区分に該当しない皮膚腐食性/刺激性区分に該当しない眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性区分に該当しない呼吸器感作性分類できない生殖細胞変異原性分類できない発がん性区分 2生殖毒性区分 1B授乳に対する又は授乳を介した影響授乳に対する又は授乳を介した影響にない特定標的臓器毒性(単回ばく露)区分 3区分 3 標的臓器素性(反復ばく露)区分 2医分 2 male reproductive organs.区分 2	急性毒性(吸入) - ガス	
皮膚腐食性/刺激性区分に該当しない眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性区分に該当しない呼吸器感作性分類できない皮膚感作性分類できない生殖細胞変異原性区分 2生殖毒性区分 1B授乳に対する又は授乳を介した影響授乳に対する又は授乳を介した影響はない特定標的臓器毒性(単回ばく露)区分 3区分 3 標的臓器影響:麻酔作用。特定標的臓器毒性(反復ばく露)区分 2区分 2 male reproductive organs.区分 2		
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分に該当しない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 区分 2 生殖毒性 区分 1B 授乳に対する又は授乳を介した影響 授乳に対する又は授乳を介した影響にない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 3 区分 3 標的臓器影響: 麻酔作用。 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 2 区分 2 male reproductive organs. 区分 2		
呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 区分 2 生殖毒性 区分 1B 授乳に対する又は授乳を介した影響 授乳に対する又は授乳を介した影響はない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 3 区分 3 標的臓器影響: 麻酔作用。 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 2 区分 2 male reproductive organs.		
皮膚感作性分類できない生殖細胞変異原性分類できない発がん性区分 2生殖毒性区分 1B授乳に対する又は授乳を介した影響授乳に対する又は授乳を介した影響はない特定標的臓器毒性(単回ばく露)区分 3区分 3 標的臓器影響: 麻酔作用。区分 2特定標的臓器毒性(反復ばく露)区分 2区分 2 male reproductive organs.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	
生殖細胞変異原性分類できない発がん性区分 2生殖毒性区分 1B授乳に対する又は授乳を介した影響授乳に対する又は授乳を介した影響はない特定標的臓器毒性(単回ばく露)区分 3区分 3 標的臓器影響: 麻酔作用。区分 2協分 2 male reproductive organs.区分 2		
発がん性区分 2生殖毒性区分 1B授乳に対する又は授乳を介した影響授乳に対する又は授乳を介した影響はない特定標的臓器毒性(単回ばく露)区分 3区分 3 標的臓器影響: 麻酔作用。区分 2特定標的臓器毒性(反復ばく露)区分 2区分 2 male reproductive organs.		
生殖毒性 区分 1B 授乳に対する又は授乳を介した影響 授乳に対する又は授乳を介した影響はない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 3 区分 3 標的臓器影響: 麻酔作用。 区分 2 区分 2 male reproductive organs. 区分 2		
授乳に対する又は授乳を介した影響授乳に対する又は授乳を介した影響にない特定標的臓器毒性(単回ばく露)区分 3区分 3 標的臓器影響: 麻酔作用。区分 2協分 2 male reproductive organs.区分 2		区分 2
ちょう おい おい 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 3 区分 3 標的臓器影響: 麻酔作用。 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日		
特定標的臓器毒性(単回ばく露)区分 3区分 3 標的臓器影響: 麻酔作用。医分 2特定標的臓器毒性(反復ばく露)区分 2区分 2 male reproductive organs.	授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
区分 3 標的臓器影響: 麻酔作用。特定標的臓器毒性(反復ばく露)区分 2区分 2 male reproductive organs.		
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 2 区分 2 male reproductive organs.		区分 3
区分 2 male reproductive organs.	区分 3 標的臓器影響: 麻酔作用。	
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2
記った 方宝州	区分 2 male reproductive organs.	
		分類できない
水生環境有害性 短期(急性) 分類できない	水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性) 区分に該当しない	水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性 分類できない	オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

CUC **八粨**



改訂日 2023-01-24 Formamide (Deionized)

注意喚起語

危険

危険有害性情報

発がんのおそれの疑い 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ 長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ: male reproductive organs.

注意書き 安全対策

- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと ・保護手袋/保護衣及び眼/顔面保護具を着用すること ・屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと

応急措置

- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること ・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること

保管

- ・施錠して保管すること
- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと

廃棄

・内容物/容器を適用される現地、地域、国、及び国際規則に従って廃棄すること

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

化学物質

CAS番号 75-12-7

	化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベ	化審法番号	安衛法インベ	安衛法番号
İ	ホルムアミド	75-12-7	50 - 100	既存	(2)-684,(2)-681	既存	(2)-684,(2)-681

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

変換係数のデータが無い場合は係数は1として算出

化学名又は一般名	政令名称	金属、CN、F、 その他	変換係数	含有率 %	区分	政令番号	管理番号
ホルムアミド	ホルムアミド			100	第2種指定化学物 質	2-118	815

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u> 法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9及び第3号・別表3

<u> </u>		3 A1 = 3 A1 EX =		
化学名又は一般名	CAS番号	区分	政令番号	含有率 %
ホルムアミド	75-12-7	通知対象物質	Attached table 9-547	90 - 100

表示対象物質 法第57条、施行令第18条第1号、第<u>2号・別表第9及び第3号・別表3</u>

	<u> </u>	777920		
化学名又は一般名	CAS番号	区分	政令番号	含有率 %
ホルムアミド	75-12-7	表示対象物質	Attached table 9-547	90 - 100

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

一般的なアド バイス

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。 治療を行う 医師にこのSDSを示すこと。

Formamide (Deionized) 改訂日 2023-01-24

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当て

を受けること。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

眼に入った場合 上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談する

こと。

飲み込んだ場合 無理に吐かせないこと。 口をすすぐこと。 意識のない者には、何も口から与えてはなら

ない。 医師に連絡すること。

徴候症状

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 高濃度の蒸気を吸入すると、頭痛、めまい、疲労、吐き気及び嘔吐のような症状を引き起

こすおそれがある

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること。

大規模火災 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人

予防措置 用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 指定された個人用保護具を着用すること。 人員を

急時措置 安全な区域に退避させること。

緊急対応を行う 者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

その他の情報 項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された衣類及び靴を脱ぐこと。 十分換気されているか確認すること。 蒸気又はミストを吸い込まないようにすること。 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと。 衛生対策

保管

安全な保管条件 施錠して保管すること。製品とラベルの指示に従って保管してください。 Formamide (Deionized) 改訂日 2023-01-24

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基 準 - 管理濃度	ACGIH TLV
ホルムアミド	-	-	TWA: 1 ppm
75-12-7			S*

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない。 生物学的職業性ばく露限界値

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。

眼及び/又は顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

情報なし

物理的及び化学的性質に関する情報

液体 液体 物理状態 黄色 色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

<u>備考 · 方法</u>

製点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性 の 2.5 ° C / 36.5 ° F 210 ° C / 410 ° F

データなし 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし 爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし

引火点 154 ° C / 309.2 ° F

データなし 系発速度 自然発火点 情報なし 情報なし データなし 分解温度 情報なし Hq 情報なし

粘度

動粘性率 データなし 情報なし データなし 動的粘度

情報なし 水と 混和 水への溶解度 溶解度 情報なし

データなし データなし n ーオクタノール/水分配係数(log値) デ 情報なし 蒸気圧 データなし 情報なし 密度及び/又は相対密度

データなし 相対密度 情報なし 相対ガス密度 データなし 情報なし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

Formamide (Deionized) **改訂日** 2023-01-24

爆発性 情報なし 情報なし 情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性通常の条件下で安定。危険有害反応可能性通常の条件下で安定。

避けるべき条件情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

化学名又は一般名	経口 LD50	経皮LD50	吸入 LC50
ホルムアミド	= 5577 mg/kg (Rat)	= 6 g/kg (Rabbit)	> 21 mg/L (Rat) 4 h

略語及び頭文字

Rat: ラット Rabbit: ウサギ

症状 高濃度の蒸気を吸入すると、頭痛、めまい、疲労、吐き気及び嘔吐のような症状を引き起

こすおそれがある

製品情報

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

吸入 眠気又はめまいのおそれ。

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

眼接触この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 区分に該当しない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 区分に該当しない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 発がん性が知られている又は発がん性が疑われる物質を含んでいる。 成分に対して利用可

能なデータに基づく分類。発がんのおそれの疑い。

下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。

Formamide (Deionized) 改訂日 2023-01-24

化学名又は一般名	日本	IARC
ホルムアミド	2	_
75-12-7		

生殖毒性

生殖毒であることが知られている又は疑われる物質を含んでいる。 成分に対して利用可能 なデータに基づく分類。 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

標的臓器影響 呼吸器、眼、皮膚、中枢神経系、生殖系

特定標的臓器毒性(単回ばく 露) 眠気又はめまいのおそれ。

特定標的臓器毒性(反復ばく 露) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ: male reproductive organs.

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殼類
ホルムアミド	EC50: >500mg/L (72h, Desmodesmus subspicatus) EC50: >500mg/L (96h, Desmodesmus subspicatus)	LC50: =9135mg/L (96h, Brachydanio rerio)	EC50: >500mg/L (48h, Daphnia magna)

残留性 分解性 情報なし。

この製品のデータはない。 生態蓄積性

成分情報

PX.771 F FX	
化学名又は一般名	分配係数
ホルムアミド	-0.82
75-12-7	

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 規制対象外 <u>IATA</u>

改訂日 2023-01-24 Formamide (Deionized)

15. **適用法令**

国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当する 詳細情報については項目3を参照

労働安全衛生法

表示対象物質

法第57条、施行令第18条第1号、第2号・別表第9及び第3号・別表3 通知対象物質

法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9及び第3号・別表3

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

引火性液体、 第4類、第3石油類、非水溶性液体、危険等級 Ⅲ、2000リットル 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律及び施行令、別表第1の2;区分Y

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

大気汚染防止法第2条、第4項で定める揮発性有機化合物

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2023-01-24

既存情報のフォーマット 変更・更新済。

-タシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

<u>凡例 項目8: ばく 露防止及び保護措置</u> TWA TWA(時間加重平均)

最大限界值 天井値 経皮吸収 感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局

欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法

不自様境保護力、建邦权工削、校園削、校園削法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 イーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP) 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP)

不当国家毎ピブロックス(NTF) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学が関係をプログラム

経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

免責事項

Formamide (Deionized) 改訂日 2023-01-24

このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2023-01-24 改訂番号 1.2

化学品及び会社情報

化学品の名称 DCode 2X Gel Loading Dye

カタログ番号 9702681

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive

Hercules, CA 94547 **USA**

緊急連絡電話番号

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬。

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分に該当しない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	区分 3
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

水生生物に有害

注意書き 安全対策

・環境への放出を避けること

応急措置

該当しない

廃棄

改訂日 2023-01-24

・内容物/容器を適用される現地、地域、国、及び国際規則に従って廃棄すること

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u>

該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

眼に入った場合 上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談する

こと。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。 適切な消火剤

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置

用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。

急時措置

緊急対応を 行う 者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。 環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。 製品とラベルの指示に従って保管してください。 安全な保管条件

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値 生物学的職業性ばく露限界値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

シャワー 設備対策

洗眼場

換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、 呼吸用保護具

換気及び排気が必要になる。

サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。 眼及び/又は顔面の保護具

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観 水溶液 物理状態 液体 色 青色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

<u>特性</u> 融点/凝固点 -タなし -タなし 沸点、初留点及び沸騰範囲 -タなし 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界

データなし

備考 · 方法 情報なし 情報なし 情報なし

情報なし

爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 引火点 該当しない 情報なし データなし 蒸発速度 情報なし 情報なし 情報なし 自然発火点 データなし 分解温度 情報なし nН 粘度

動粘性率データなし情報なし動的粘度データなし情報なし水への溶解度水と混和

 溶解度
 データなし
 情報なし

 n ーオクタノール/水分配係数(log値) データなし
 情報なし

 素気圧
 データなし
 情報なし

 窓内形状 (アは日) 常度
 でのよれた
 でのよれた

密度及び/又は相対密度データなし情報なし相対ガス密度データなし情報なし粒子特性情報なし

粒径データなし該当しない粒径分布データなし該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 情報なし 情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性通常の条件下で安定。危険有害反応可能性通常の条件下で安定。

避けるべき条件情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 **機械的衝撃に対する感度** なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

症状 情報なし

 経口
 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

 吸入
 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

眼接触この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 区分に該当しない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 区分に該当しない。

3

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

標的臓器影響 腎臓、呼吸器、眼、皮膚

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 水生生物に有害。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性 この製品のデータはない。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 現地の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

 IMDG
 規制対象外

 ADR
 規制対象外

 IATA
 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない 2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

労働安全衛生法 該当しない 通知対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

該当しない 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法) 該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

大気汚染防止法

大気汚染防止法第2条、第4項で定める揮発性有機化合物

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety 作成者 改訂日 2023-01-24

改訂記録 既存情報のフォーマット 変更・更新済。

天井値 最大限界值 経皮吸収 感作性物質

本SDS**の編集に使用した主要参考文献及びデータ源** 環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局

欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

EPA (木岡塚児休度コア 急性ばく 露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID)

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

ニューシーラント 化子物負が類 情報アーダベース(CC 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

免責事項

不見事場 このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、 情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃 棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様では ありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用 した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2023-01-24 改訂番号 1.2

化学品及び会社情報

化学品の名称 DCode Dye Solution

カタログ番号 9702660

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 **USA**

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive

Hercules, California 94547 USA

日本法人/連絡先住所 140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F

バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

緊急連絡電話番号

life_ps_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬。

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
	分類できない
	th stem - 1. (.

以胃肠及性/米 成性	刀規じさない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響に
	ない
性史煙的職哭害性(単同げく 露)	公粕できたい

	ない
	分類できない
	分類できない
	分類できない
	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

安全対策

・該当しない

応急措置

該当しない

保管

該当しない

JGHS / JP ページ 17 / 23

改訂日 2023-01-24 DCode Dye Solution

・該当しない

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベ ントリ	安衛法番号
エチレンジアミン四酢酸	60-00-4	0.01 - 0.099	既存	(2)-1263	既存	(2)-1263

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置

用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 **急時措置**

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。 封じ込め方法

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。 製品とラベルの指示に従

って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない。 生物学的職業性ばく露限界値

シャワー 設備対策

洗眼場

換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

<u>保護具</u>

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

眼及び/又は顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観 水溶液 物理状態 液体 色 無色 臭い 臭いのしきい値 無臭 情報なし

沸点、 初留点及び沸騰範囲

<u>· 方法</u> 情報なし 情報なし 情報なし

改訂日 2023-01-24 DCode Dye Solution

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし · データなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし 引火点 該当しない 情報なし 蒸発速度 自然発火点 データなし 情報なし 情報なし データなし 分解温度 情報なし

粘度

動粘性率 データなし 情報なし データなし 動的粘度 情報なし

水と混和 データなし データなし 水への溶解度 溶解度 n ーオクタノール/水分配係数(log値) データなし 蒸気圧

密度及び/又は相対密度 相対密度 データなし 相対ガス密度 データなし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない 粒径分布 データなし 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

10: 安定性及び反応性

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。 危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

なし。 静電放電に対する感度 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
エチレンジアミン四酢酸	> 2000 mg/kg (Rat)	_	-

症状 情報なし

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 DCode Dye Solution **改訂日** 2023-01-24

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殼類
エチレンジアミン四酢酸	EC50: =1.01mg/L (72h,	LC50: 34 - 62mg/L (96h, Lepomis	EC50: =113mg/L (48h, Daphnia
	Desmodesmus subspicatus)	macrochirus)	magna)
	, ,	LC50: 44.2 - 76.5mg/L (96h,	3 .
		Pimephales promelas)	

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 現地の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG 規制対象外

規制対象外 <u>ADR</u> <u>IATA</u> 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法 該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法) 該当しない

<u>版当しない</u>		
化学名又は一般名	CAS番号	化審法
エチレンジアミン四酢酸	60-00-4	優先評価化学物質

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

水道法

水道法 - 要検討項目

大気汚染防止法

大気汚染防止法第2条、第1項、第3号及び大気汚染防止法施行令第1条で定める有害物質(HAP)

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2023-01-24

改訂記録 既存情報のフォーマット変更・更新済。

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

<u>凡例 項目8: ばく 露防止及び保護措置</u> TWA TWA(時間加重平均)

天井値 最大限界值 経皮吸収 感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

不日本のサービックでは、「BLACK TOTAL TOT

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国国家毒性プログラム(NTP)

DCode Dye Solution 改訂日 2023-01-24

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット 世界保健機構

免責事項
このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートのおわり